

政策シート 政策名 02 海外需要を取り込み、国内事業の活性化を図るため中小企業の海外展開を促進  
予算費目名 01 産業振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 01 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

活力ある海外市場の需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な中小企業の海外展開を支援することで、税収及び雇用を確保し、地域経済の持続的発展を図る。  
①海外進出支援…東南アジアを中心とした成長国への進出・現地拡大をサポート  
②海外販路開拓支援…市内で高度な「ものづくり」を継続する中小企業の海外販路開拓をサポート

(3) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	36,102	12,301	11,931	15,112	19,290	
決算	29,063	9,926	10,821	15,112		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	19,600	19,600	17,500	14,000	14,700	
年間経費(予算又は決算+A+B)	48,663	29,526	28,321	29,112	33,990	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
展示会出展支援企業の成約件数	件	目標	-	-	50	50	50	50
		実績	-	-	47	2023.7頃確定		
海外ビジネスセミナー聴講者数	人	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	57	156	140	98		

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

活力ある海外市場の需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な中小企業の海外展開を支援することで、税収及び雇用を確保し、地域経済の持続的発展を図った。  
①海外進出支援 - 東南アジアを中心とした成長国への進出・現地拡大をサポート  
②海外販路開拓支援 - 市内で高度な「ものづくり」を継続する中小企業の海外販路開拓をサポート

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り  
新興国経済の停滞や円安基調等の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、市内企業の新規進出案件は少ない状況である。しかしながら、大手メーカーの日本帰郷の動きは少なく、海外生産・現地調達は依然進行しており、人口減少社会の到来による国内需要の縮小が懸念される中で、市内企業の経営の維持・拡大に向けては海外需要の獲得は重要であるため、海外ビジネスサポートデスクや海外政府機関との連携などこれまでに構築した支援体制を活用し、海外展開支援を実施した。  
具体的には、進出済の企業をサポートするための現地の税、労務などの情報発信や、現地政府との友好的な関係を継続し、進出企業の要望などを伝えやすくする環境づくりに努めた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	海外ビジネス展開支援事業	○	○		33,990	19,290	2.1				
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					33,990	19,290	2.1				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

# 事業シート (事業名) 01 海外ビジネス展開支援事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

活力ある海外市場の需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な中小企業の海外展開を支援することで、税収及び雇用を確保し、地域経済の持続的発展を図る。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2013	-	一般会計	自治事務(その他)	

### (3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(2)ア				

### (4) 関連するSDGsのゴール

	⑧成長・雇用
事業とゴールの関連性	本事業は、活力ある海外市場の需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な中小企業の海外展開を支援することで、地域経済の持続的な発展を図ることを目的としている。

## 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	36,102	12,301	11,931	15,112	19,290	
	決算	29,063	9,926	10,821	15,112		
	国・県支出			60			
	市債						
	その他						
	一般財源	29,063	9,926	10,761	15,112	19,290	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		19,600	19,600	17,500	14,000	14,700	
人工	正規	2.8	2.8	2.5	2.0	2.1	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		48,663	29,526	28,321	29,112	33,990	

## 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
見本市出展企業の成約件数	I-1(2) ア	目標	25	30	35	40	45	50
		実績	10	(見本市中止のため出展なし)	(見本市出展見送りのため実績なし)	(見本市出展見送りのため実績なし)		
海外展開企業数 ※県の調査によるもの	I-1(2) ア	目標	130	131	132	133	134	135
		実績	130	121	116	(調査中止のため)		
展示会出展支援企業の成約件数(件)		目標	-	-	50	50	50	50
		実績	-	-	47	2023.7頃確定		
海外ビジネスセミナー聴講者数(人)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	57	156	140	98		
		目標						
		実績						

#### 4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ①海外ビジネスサポートデスク運営事業…海外ビジネス展開に関する総合的な相談窓口を市内及び現地に開設し、各種支援を実施。市内では企業訪問を行い、積極的に企業の課題解決を支援。
- ②海外販路開拓支援事業…世界有数の国際見本市に共同出展ブースを確保し、市内中小企業に出展機会を提供することで、海外販路開拓を支援。また、海外販路開拓手法についてセミナーを開催。＜出展見本市：COMPAMED(ドイツ・健康医療)＞…出展希望企業が募集数に到達しなかったため、出展取りやめ。
- ③経済交流推進事業…経済交流に関する覚書等を締結しているタイ・ベトナム・インドネシア政府機関と連携した各国との経済交流事業(海外ビジネスセミナー等)などを実施。



#### 5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

##### (1)事業の成果と課題

指標の達成度

新興国経済の停滞や円安基調等の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、市内企業の新規進出案件は少ない状況である。しかしながら、大手メーカーの日本回帰の動きは少なく、海外生産・現地調達は依然進行しており、人口減少社会の到来による国内需要の縮小が懸念される中で、市内企業の経営の維持・拡大に向けては海外需要の獲得は重要であるため、海外ビジネスサポートデスクや海外政府機関との連携などこれまでに構築した支援体制を活用し、海外展開支援を実施した。

具体的には、進出済の企業をサポートするための現地の税、労務などの情報発信や、現地政府との友好的な関係を継続し、進出企業の要望などを伝えやすくする環境づくりに努めた。

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・国内企業の海外進出機運の一服感、中国・韓国企業を中心とした新たなサプライチェーンの台頭、EV化の動き。

・海外見本市への出展等、人の移動を伴う販路開拓が困難となっており、非対面・非接触の販路開拓手法や、信頼できる現地代理人の存在が必要となっている。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・海外ビジネスセミナーについて、MOU締結国は進出済企業の関心の高いテーマ選定とした。また、先端技術をもつスタートアップとの協業を目的とした国を追加し、海外進出の新たなフェーズを意識した。

##### (2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

・海外ビジネスサポートデスクにおいて積極的に企業訪問を行い、企業が直面している課題を掘り起こし、企業のニーズに即した適切なサポートを実施する。

・海外販路開拓支援事業について、浜松市ブースを出展していた見本市を精査し、より効率的・的確な手法を検討する。



#### 7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ①海外ビジネスサポートデスク運営事業…海外ビジネス展開に関する総合的な相談窓口を市内及び現地に開設し、各種支援を実施。市内では企業訪問を行い、積極的に企業の課題解決を図る。
- ②海外販路開拓支援事業…見本市への共同出展ブースでの参加を一旦取りやめ、他事業と連携し、市内企業の海外展示会出展を支援するとともに、産業イノベーション構想に掲げる成長7分野のうち、新たに共同出展を行う海外見本市の検討を引き続き実施する。
- ③経済交流推進事業…経済交流に関する覚書等を締結しているタイ・ベトナム・インドネシア各政府機関と連携した経済交流事業(海外ビジネスセミナー等)を実施。